

3学期 始業式あいさつ

みなさん、新年あけましておめでとうございます。年末年始に、おうちでお手伝いをすることはできましたか。

校長先生のお話の前に、みなさんにお詫びと訂正があります。

2学期の終業式にコロナ禍の「禍」という字を、「渦」と教えてしまいました。これは全くの間違いです。「禍」という字は「わざわい」という意味があります。だから「コロナ禍」とは、コロナによるわざわいの真っ只中にあるという意味になります。昨年1年間はコロナによっていろいろな行事が中止や変更になって、ぐるぐる回されているなど思っていたので、その意味で「渦」と思い込んでいました。間違ったことを教えてしまい、本当に申し訳ありませんでした。

話は変わって、とうとう校歌を歌うことができましたね。体の中心がぶるっと震えるような感じがしました。校歌にはみんなの気持ちを一つにしてくれる力があると思っています。まだ全力を出して歌えないのは残念ですが、それでもみんなと一緒に歌えたことは今年一番の思い出です。

さて、いよいよ今日から3学期が始まります。3学期は1年間の総まとめの時です。これまで書いてきたノートやプリント、作文などを見返して、この1年の自分自身の成長を感じ取って欲しいと思います。きっといろいろなことができるようになっていくことでしょう。特に6年生のみなさんは卒業にあたり、入学から今日までを振り返ってみてください。びっくりするほどの成長をしていることでしょう。

自分の成長を感じることは、自分自身への自信となります。自分に自信が持てると、少々の困難にぶつかっても決してくじけることはありません。なぜなら、「自分はこんなことができるんだ。こんなすごいところがあるんだ。」という思い、自分を大切に思う気持ちが心の支えとなるからです。心が強い人は、他の人にも優しくできます。そのような人は、他の人からも優しくされます。

成長を感じるとは、誰かと比べて感じることでは決してありません。自分自身の過去(昔)と現在(今)とを比べることです。

みなさん一人一人にはキラキラ輝くものがあります。それは人によってそれぞれ違うものかもしれませんが、必ずあります。「もしかして。これかな。」と思えるものが、いつかきっと見つかるはずです。この3学期は、自分の心の成長を感じる時にしてほしいと思います。

令和3年1月6日

- ※ 児童を前に話すことができたので、身振り手振りも加え原稿からは多少変わっていますが、概略はこのような感じです。児童を前に話すのは、運動会以来、始業式・終業式では今年度初めてです。